

## 【熊本県納税貯蓄組合連合会会長賞】

### 税金の有無はどうすべきだろうか

熊本県立宇土中学校

二年 小澤 賢人

「私が選挙に当選したら消費税をなくすことを約束しましょう！」ある日、私は何気なく目にしたテレビの街頭演説をしている立候補者の言葉を聞き、衝撃を受けたのを覚えています。なぜなら私は、税金とはやはり世の中になくてはならないものであり、なくなつてほしいなあ、と思う人なんているはずないと思つていたからです。

私が小学生の頃、税についてを学ぶ教室が開かれ、そこでは税がこの社会を支えているということをお金を教えていただきました。具体的には税には消費税や固定資産税など様々な形でお金をとられることがあるのだが、そのお金は無駄になつたりする訳ではなく、警察や消防、県などの役員にあてられる給料であつたり、道路整備などと様々なところで私達の生活を助けているということを学びました。税を納めるのは国民である以上の義務でありお金を絶対に支払わなければならない。こう聞くと、税が人を助けているというイメージからはかけはなれます。そこで私は立候補者の存在もあつてか、ある疑問が生じました。税とはこの現代社会において必要なものなのかどうか、自分の個人的主観や調べたことなどをまとめていきたいと思ひます。

まず税金がいらぬや不満をかかえる人達の観点を世論調査等で見っていくと、自分の収入に比べて負担額が大きい、や税金の仕組みや脱税などの不公平に不満がある等の意見が多かつたように感じました。あくまで主観ですが、税金を不満だと思つている人は自分と誰かを比べた時に自分の立場がとられる側だから不満が生じたのではないかと思ひました。もちろん、この考え自体私は今税を良いものとして扱つたから言えたのかもしれませんが。税にも両面あります。良い側面と悪い側面。税金は最終的には国が集めるので、もしかしたら不正にその税金を使つている人もいるかもしれないし、さっき言つたように人それぞれがみんな同じつて訳にもいきませんので当然環境が違つて税がほかの人より負担と感じてる人もいます。ですがその分の税金のメリットも存在します。小学生の時の税教室で習つたことは言わずもがな医療費、介護費などの公共施設も税であり、不満などの前に助けになつてくれる人が本当に多くいるということも事実であり、本当に税金は、良い面と悪い面、どっちとももつていふと言えます。

私は今回、税のことについて調べましたが、やはり私の中では税金はあつた方が良く考えます。たしかに税はどこか不公平に感じるところもあるし、不満がたまるのも十分、分かります。ですがそれ以上に税金で助かつたりしている人も、自分含めてたくさんいるはず。なので私はこれからは改めて税金の良い面、悪い面とうまく付き合ひ、その存在と向きあつていきたいと思ひます。